

<p>当院は下記研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを望まない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。</p>	
研究番号	22-3
研究課題名	変形性股関節症の病因に関する疫学研究
当院の研究責任者（所属）	整形外科 整形外科部長 河野 勤
他の研究機関及び各施設の 研究責任者	九州大学大学院医学研究院 整形外科学分野/教授・中島康晴 独立行政法人理化学研究所 生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム/チームリーダー・寺尾知可史 福岡市立こども病院 整形・脊椎外科/科長・高村和幸 飯塚病院 整形外科/部長・原俊彦 金沢医科大学 整形外科/特任教授・兼氏歩 金沢大学 整形外科/准教授・加畑多文 獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科/主任教授・神野哲也 横浜市立大学 整形外科/教授・稲葉裕 北海道大学病院 整形外科/講師・高橋大介 山形大学医学部 整形外科/教授・高木理彰 済生会山形済生病院 整形外科/診療部長・佐々木幹 京都大学医学部附属病院 整形外科/准教授・後藤公志 福岡大学医学部 整形外科/教授・山本卓明 JCHO 九州病院 リハビリテーション科/医長・中村哲郎 浜の町病院 整形外科/部長・馬渡太郎
研究の目的	本研究の目的は、発育性股関節形成不全(DDH) による変形性股関節症(OA)の割合、大腿骨寛骨臼インピンジメント症候群(FAI)、大腿骨骨頭軟骨下骨脆弱性骨折(SIF)後 OAの割合を多施設前向き研究で調査することで、(1) DDHによる二次性 OA の割合が低下したか、(2) DDHによる二次性 OA のうち、治療歴や家族歴のない症例が占める割合、(3) FAI 後、SIF 後 OA の割合を明らかにすることである。
調査データの該当期間	研究許可日～ 2026年6月30日
実施期間	研究許可日～ 2026年6月30日
研究の方法（対象となる方）	変形性股関節症と診断された患者。

<p>試料/情報の他機関への提供</p>	<p>試料：なし 情報：診療情報【年齢、性別、身長、体重、患側（左右）、 病因（一次性、形成不全、大腿寛骨臼インピンジメント、 大腿骨頭軟骨下脆弱性骨折、ペルテス病、大腿骨頭すべり 症、外傷、骨系統疾患）、股関節治療歴、股関節疾患家族 歴、発症年齢、スポーツ歴、臨床評価（日本整形外科学会 股関節機能判定基準(JOA Hip Score)、modified Harris Hip Score)、単純 X 線画像所見】</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>匿名化する <対応表の管理> 対応表は九州大学病院メディカル・インフォメーションセ ンターで作成されたものを使用し、研究期間中は同所にお いて保管する。ただし各共同研究機関の責任のもとで、各 共同研究機関での保管も可能とする。</p>
<p>本研究の資金源</p>	<p>九州大学大学院医学研究院 整形外科学分野 省庁等の公的研究費・科学研究費等</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>九州労災病院 整形外科 医師 塩本 喬平 電話：093-471-1121</p>
<p>備 考</p>	